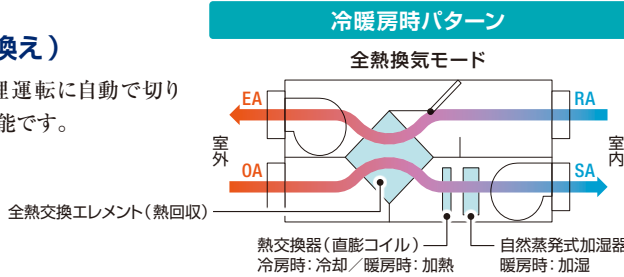


快適性能

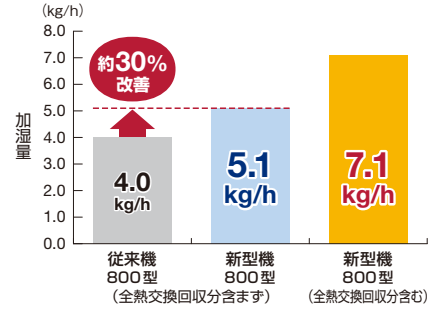
自動換気機能  
(普通換気への切り換え)

中間期では適切な外気処理運転に自動で切り換わる、自動換気の設定が可能です。

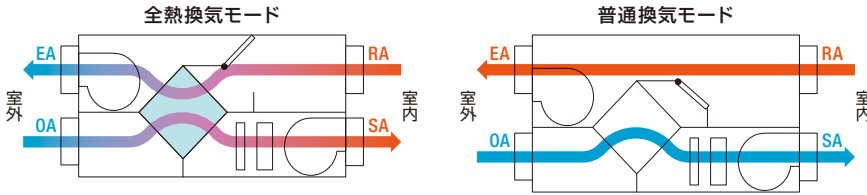


高加湿化

自然蒸発式の加湿器を搭載し、異臭や詰まりの原因となるカルキの発生を抑制しつつ、従来機よりも加湿量を確保しました。さらに全熱交換エレメントの潜熱回収分を含めることで高加湿化が可能になりました。



中間期パターン



メンテナンス性

ドレンアップメカ

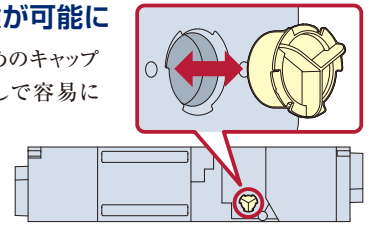
ドレンアップメカをオプション対応したことにより、本体上面より最大550mmまでドレンアップ可能です。

ファンモーターのサービス性を向上

本体側面からのメンテナンスが容易となりました。

工具なしの容易な点検が可能に

ドレンパンの汚れを確認するためのキャップを追加したことにより、工具なしで容易にドレンパンの点検ができます。



標準仕様表 (エコフレッシュ)

(50/60Hz)

容量・型名(相当馬力)		500型(1.3)	800型(2.3)	1000型(2.8)
室内ユニット	ヒーターレス	RPIF-GP500K	RPIF-GP800K	RPIF-GP1000K
主電源		単相200V		
外気負荷処理能力(注1)	冷房(kW)	5.65(2.05) (3.6)	8.65(3.05) (5.6)	10.47(3.37) (7.1)
	暖房(kW)	6.60(2.60) (4.0)	10.20(3.90) (6.3)	12.70(4.20) (8.5)
温度交換効率(H急-急-強-弱)(%)		80-81-83-85	81-82-84-85	80-81-83-84
エンタルピー交換効率	冷房(H急-急-強-弱)(%)	67-68-70-71	68-70-72-75	66-67-69-72
	暖房(H急-急-強-弱)(%)	75-76-77-78	76-77-78-79	74-75-76-77
有効換気量率(%)		85		
消費電力(H急-急-強-弱)(kW)		0.29-0.24-0.19-0.16	0.39-0.27-0.20-0.15	0.59-0.39-0.27-0.19
機外静圧(H急-急-強-弱)(Pa)		160-137-116-97	160-125-95-72	160-133-103-80
室内風量(H急-急-強-弱)(m³/h)		500-460-420-380	800-700-600-520	1000-860-750-650
運転音	全熱換気(H急-急-強-弱)(dB(A))	41-40-38-36	42-39-36-33	46-43-40-37
	普通換気(H急-急-強-弱)(dB(A))	40-39-37-35	41-38-35-32	44-41-38-35
加湿器(注3)	加湿器種類	自然蒸発式		
	加湿量(kg/h)	3.3(4.8)	5.1(7.1)	5.8(8.1)
	給水圧力(Pa)	10.0×10⁴~50.0×10⁴		
ロングライフフィルター	吸気側	不織布フィルター		
	排気側	不織布フィルター		
外形寸法(mm)		W850×D1,760×H408	W1,220×D1,760×H408	W1,220×D1,760×H408
質量(kg)		90(満水時 94)	112(満水時 118)	
配管サイズ(液・ガス)(mm)		液φ6.35 ガスφ12.7		
		液φ9.52 ガスφ15.88		

(注1) 外気負荷処理能力、加湿量はJRA 4074:2017 T1/H1に基づいた値です。外気負荷処理能力の( )内は、全熱交換による熱回収能力を内数で示し、( )内は定格冷房能力、定格暖房能力を示します。  
 (注2) 熱交換効率はJIS B 8639:2017に基づいた値です。なお、温度交換効率は冷房時、暖房時の平均値を示します。  
 (注3) ( )内は全熱交換による湿度回収能力を含んだ値です。  
 (注4) 上記のエンタルピー交換効率は、給気と排気の風量比や空気条件により変動します。詳細は製品ガイドブックをご参照ください。  
 (注5) 運転音はJIS B 8628:2017に基づいた値です。  
 ※設計・施工の際は据付点検要領書などの技術資料を必ずご参照ください。  
 特に寒冷地で使用する場合は、冬場に結露・結水する恐れがありますので、使用条件や注意事項を必ず確認の上断熱材などの追加工事などを実施してください。なお、外気が-15℃以下の場合は運転停止してください。停止時に加湿器部分が0℃以下とならないように施工してください。減圧電磁弁や加湿エレメントなどが破損することがあります。

(注6) 条件によっては建築物衛生法で規定する室内環境を満足できない場合があります。エコフレッシュを使用して建築物衛生法の温度や湿度の基準値に対応するためには、エコフレッシュの風量、加湿能力、熱交換能力や、室内空気温湿度、室外空気温度、ドアの開閉などの諸条件を検討して適切な機器を選定する必要があります。

- 同一室外ユニットに接続するエコフレッシュの合計容量には下表の制限があります。なお、エコフレッシュの容量は、型名または相当馬力としてください。

接続状況	エコフレッシュの合計容量
同一室外ユニットにエコフレッシュのみを接続する場合	室外ユニット容量比 100%以下

本機は一般居室の換気用です。室内の空調負荷については必ず空調機を併設してください。  
 また、施工や使用方法などが一般空調機とは異なります。  
 注意事項など詳細は本機の据付工事要領書や取扱説明書、技術資料などを必ずご確認ください。